



一般社団法人 **日本LD学会**  
Japan Academy of Learning Disabilities

# 会 報 第126号

一般社団法人 日本LD学会 事務局（業務委託先）

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター（株）国際文献社

URL <https://www.jald.or.jp>

- ・巻頭言：青年部の活動を通して、青年期に必要な支援とは
- ・〈大会特集〉第32回広島大会事前講義
- ・〈連続講座1〉第5回 家庭と教育と福祉の連携「トライアングル」プロジェクト
- ・〈連続講座2〉第5回 GIGA スクール時代における特別支援教育
- ・委員会リレー企画 倫理委員会の取り組みについて
- ・PATIO ～実践の最前線～
- ・日本LD学会からのお知らせ



## 青年部の活動を通して、 青年期に必要な支援とは

U&U教育相談室

内 田 真 弓

U & U教育相談室主催の青年部の活動が、2022年5月から活発になりました。2カ月に1回顔を合わせることができました。

青年部の対象は高校生以上（現在は25名）です。毎回10数名の青年が集まっています。青年部の多くは、小中学校時代に、学校や民間塾・医療現場で支援を受けていた人です。中には、保護者がU & U懇談会に参加することで、我が子も支援が必要だった事に気づかれた保護者もいて、本人は意識していない人もいます。

2022年度の活動を通して、青年の声を聞きながら青年期に必要な支援を考えてみたいと思います。

### ①お楽しみ会の計画と実践（2022年5月・12月）

予算内でボードゲーム等を購入しようと声を掛け、青年其々がネットで調べたゲーム等を検討し、購入商品を選んだ。購入したボードゲーム・ダーツ・ポッチャ等で楽しんだ。青年の声「だれも失敗しても責めない雰囲気、その場にいるだけで楽しい。みんな人との対応で悩んできている。自分と同じだと思うとホッとすることがある。」

### ②講演会（2022年8月・10月）

8月の講演会、小金基幹相談支援センターおんぶ相談員桑田良子先生に「自立とは何か」について講演していただいた。ある青年が、「自立とは、一人で生活する事だと思っていたが、桑田先生の話聞いて、親と一緒に住んでいても自分で出来ることを行うことが自立なのだと思った。」と感想を書いていた。

### ③春のファッション講座（2023年3月）

さくらんぼ教室の伊庭先生・亀尾先生を講師に迎え、ファッション講座を開催した。お気に入りの服装で集まり、そこに小物を身にまとうことで、いつもと異なる自分を発見した青年が多かった。

活動を通して、コミュニケーションが苦手と感じている青年たちではありますが、仲間と話したいという希望を持っています。語り合える場や、仲間と一緒に活動する場を提供していくことも、青年の支援に繋がるのではないのでしょうか。